

厳しい寒さが続いています。1月13日（土）の朝は特に冷え込みました。小見野々ダムの湖面に氷が張っていました。自宅室内の午前10時の気温が-2度でした。これまでこのような低温は記憶にありません。水道管が凍結したり、裂けて水漏れを起こしたりして困ったお宅はなかったでしょうか。この寒波は2月に入っても続いています。皆様お体にはくれぐれもお気をつけください。生徒の皆さんは引き続きインフルエンザに要警戒。

1 閉校式典に向けて

記念誌の編集も大詰めとなりました。1月24日には編集委員会へご出席いただき、大変お世話になりました。記念碑の方もこれから本格的に作業にかかります。

2月21日（水）には第5回実行委員会を開催いたします。最後の委員会となりますので、どうかよろしく願いいたします。

2 上中花だより

厳冬の試練に耐えて梅ひらく

連携型選抜・特色選抜を受検した生徒の皆さん、お疲れ様でした。これまでも様々な場面で緊張を経験していますが、今回の緊張は格別のものがあったと思います。今週末にはうれしい知らせが届くことでしょうか。心静かに待ちましょう。

冬の厳しい寒さのなか、写真のような淡いピンクの梅の花を見ると、厳しさに耐えて凜としている花に感動を覚えます。様々な場面で甘えが出てくる私たちに、「厳しさに耐えることも必要だ。厳しさに耐え、努力したことによって物事は成就するのだ。」と諭しているように見えてきます。人間が大きくたくましく成長するには、厳しさに耐え、努力する経験が非常に大切です。今回の受検もそうであったと思います。

前の文に「凜」という言葉があります。上中の校歌の2番にも出てきます。「若人我等励み合う、凜と大地を踏みしめて」というところです。「凜」とは、冷たい氷に触れて、心身ともに引き締まる感じを示しているのが字の原義です。このことから「凜」は、キリリとして隙のない引き締まった様子を表します。受検を経験した皆さんも一般選抜に挑戦する皆さんも厳冬の試練に耐え、大地を踏みしめて頑張ろう。

2月10日（土）は結果通知の日となっています。合格の知らせを受け取った皆さんは、合格に浮かれることなく、一般選抜に向かう級友と共に、先を見てさらに学力を高めていきましょう。クラスの全員が合格して初めて喜ぶことができます。気を引き締めて高校の入学に備えてください。

技術室の裏にある梅の開花のようすを写真撮影しようと考え、1月22日から撮影しています。今のところは特に変化がなく、まだ固いつぼみのままです。今年は寒さが特に厳しいので開花が遅れるのでしょうか。去年は写真のように2月の中旬には開花していました。



平成30年 1 月 22 日



平成30年 2 月 2 日

～去年の写真～



平成29年2月15日撮影